活動支援（ステップ）部門採択事業報告

10月9日　そば収穫作業：そばの刈り取り、はざ干し

10月10日　そば打ち体験・閉講式

事　業　名	食育による認知症予防事業
実施団体名	そば打ちで健康になろう会
事業の目的	そばをつくる、認知症予防、大桑村との交流、高齢者のいきがい、仲間づくりを目的としました。
補助金額	244,000 円
事業の概略	平成 28 年８月６日、９月３日、10 月９日・10 日大桑村でそばの種まき、そば収穫作業、そば打ち体験を北名古屋参加者と大桑村農業委員会、JA のみなさん方と一緒に汗を流しました。そば粉は 12 月の年越しそばとして活用しました。北名古屋の人々に試食してもらいました。
事業の効果・成果	参加した人は、初めての体験の人がほとんどで何かを感じて帰られたと思います。
実施しての問題点	大桑村の人々との話し合いの場が少なかった。 色んな事をディスカッションしようとしましたが、時間がなかったです。
課題・今後の展望	毎年続けていく為の経費について考えていかなくてはなりません。 大桑村で道具を借用できたら、北名古屋市の負担が軽くすみます。
審査員評価	問題点の着眼点がいい。より綿密な関係づくりへの一歩。そばを起点に大桑村ツアーうどん打ち健康づくりに拡大させつつ木曽の雄大な自然を満喫できる取り組みになった。
アドバイス・期待する点	そば・そば粉の販売、そば打ち教室の開催等で事業収入を得ていく。施設団体やお菓子屋さん、料理教室などとの連携。会費収入を設ける。協賛金。プレミアムファミリー（新そば試食券）大桑の村人と市民の顔の見える関係づくり。総経費のうち受益者・関係者負担が 38 万近く。後は補助金に頼らざるを得ない状況。作ったそばの使い方として、社協の行事と連携しながら補助金を得ることも考えてほしい。大桑に相当な負担がかかっているので改善必要（交通手段）。参加費の面で割高感は否めない。内容を充実させつつしっかり集客しないと続かない。グループ参加をうながしつつ、口コミで集客という方法が最も効果がありそう（一般募集にこだわる必要なし）